

後志管内小・中学校教職員人材公募 公募校案内

市町村名	岩内町	学校名	岩内町立岩内東小学校
------	-----	-----	------------

1 取組内容

(1)実施する取組	岩内町立岩内中央学園の開校に伴う小中一貫教育取組の推進
(2)現状と目指す姿	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 岩内中央学園(施設一体型義務教育学校)の令和8年度開校に向け、学校のみならず保護者や地域の声を取り入れながら取組を進めている。しかし、小学校と中学校の文化の融合が必要な9年間の一貫した教育課程編成に向けた検討において、教職員の意識の変革が大きな課題となっている。 <p><目指す姿></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 岩内町4校が連携を図り、令和8年度円滑に開校を迎え、学校教育目標の達成に向け、質の高い指導を行う。
(3)計画年数	3年
(4)具体的な取組方策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1期(1年目) <ul style="list-style-type: none"> ・開校に係る諸会議の運営に向けた取組 ・全国学力・学習状況調査を活用した岩内町の課題の整理・分析 ・独自教科「まちづくり科」の編成に向けた取組 ・ICTの授業活用と持ち帰りの充実にに向けた取組 ○ 第2期(2年目) <ul style="list-style-type: none"> ・第1期の取組の検証改善 ・目指す授業像の統一化に向けた授業公開 ○ 第3期(3年目) <ul style="list-style-type: none"> ・開校した後の検証改善サイクルの確立

2 応募資格(職種等)

(1)職種	教諭
(2)求める人材像	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本校及び本町の目指す子ども像を理解し、上記「具体的な取組方策」に取り組む意欲のある者で、次に該当する教諭 <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育に意欲のある教諭 ・校長の学校経営方針を踏まえ、ミドルリーダーとして力を発揮できる教諭 ・自ら積極的に授業公開及び授業改善を推進し、学力向上に向けた取組を推進できる教諭 ・法規法令に基づいて検証改善に努めることのできる教諭

3 その他必要な事項

(1)募集人数	1名
(2)その他	○特になし

後志管内小・中学校教職員人材公募 公募校案内

市町村名	共和町	学校名	共和町立北辰小学校
------	-----	-----	-----------

1 取組内容

(1)実施する取組	コミュニティスクール(CS)の充実や小中一貫を目指した特色ある教育の推進
(2)現状と目指す姿	<p><現状></p> <p>○通常学級担任6人中初任段階教員が4人を占めており、ミドルリーダーを中心としたメンター研修を行いたいところであるが、中心となるミドルリーダーが不足しているため、全体での研修で育成を深めているのが現状である。</p> <p>○町教頭教務会議、町教研小中連携部会(教育課程・学習・生徒指導)など、町内小中学校4校で小中一貫教育に向けた取組を行っているが、今後さらに取組の推進が必要である。</p> <p><目指す姿></p> <p>○CSを立ち上げ4年が経過し、今後これまで行っていた体験的活動のサポートに加えて、学習サポートとしても地域住民の協力を得ていこうと考えている。</p> <p>○今年度で校内研修3か年計画が終了し、次年度より新たな校内研修体制の構築が必要になる。</p>
(3)計画年数	4年
(4)具体的な取組方策	<p>○第1期(1～3年目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の推進(義務教育学校開校準備)に向けた教育課程の検討・作成・検証。 ・幼小接続プログラムを生かした、小中接続プログラムの設定。 ・CS実施に向けて、新たな取組の掘り起こしと組織体制の検討。 <p>○第2期(4年目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修体制の構築。 ・義務教育9年間にわたる教育課程の検証・改善。 ・義務教育学校開校後のCS編成と取組についての検証と改善。

2 応募資格(職種等)

(1)職種	教諭
(2)求める人材像	<p>○上記の具体的な取組に意欲を持ち、次のいずれかに該当する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手教職員育成の中心となれる者。 ・小中一貫教育に意欲のある者。 ・これまで小中連携(一貫)教育に積極的に取り組み、経験のある者。 ・CSに意欲のある者。 ・地域や保護者と積極的に関わりを持つことが出来る者。 ・研修を担当した経験がある者。

3 その他必要な事項

(1)募集人数	1名
(2)その他	

後志管内小・中学校教職員人材公募 公募校案内

市町村名	共和町	学校名	共和町立東陽小学校
------	-----	-----	-----------

1 取組内容

(1)実施する取組	子ども一人一人の可能性を引き出す特別支援教育の充実
(2)現状と目指す姿	<p><現状> 現在の特別支援学級は3学級あり、教員定数は4名であるが、特別支援教育コーディネーターを除く3名については、再任用教員1名、初任段階1年次教員1名、そして今年度初めて支援学級を担任することになった教員1名で校内体制は万全とは言えない状況にあり、加えて通常学級においても、特別な支援を要する児童が複数名いる。</p> <p>今後も学校運営の安定を図り、児童にとって温かで魅力ある学校づくりに向け、特別支援教育の専門性を確保しながら、きめ細やかで丁寧に児童に寄り添える体制づくりが喫緊の課題となっている。</p> <p><目指す姿> 特別支援教育の視点に立ち、児童一人一人の教育的ニーズを踏まえた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図りながら、全ての子どもが学校で学べる喜びや保護者が学校に通わせていることへの安心感がもてるよう、組織的かつ安定的な学校運営を目指す。</p>
(3)計画年数	3年
(4)具体的な取組方策	<p>○1～2年目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の理解促進や専門性向上を図るため、定期的なミニ研修及び日常的なメンター研修等を実施する。 ・特別な支援(配慮)を必要とする児童に対し、学校全体として組織的な支援体制を構築する。 ・幼小中の連携・接続に関わる教育課程の工夫・改善に向けた取組を推進する。 <p>○3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人の教育的ニーズを踏まえた効果的な支援に向け、校内体制を再構築し、特別支援教育の更なる充実を図る。 ・幼小の連携を図り、困り感のある就学前の子ども達の状況を詳細に把握するとともに、接続カリキュラムの充実及び小中9年間を通した教育課程の編成に向け検証と改善を図る。

2 応募資格(職種等)

(1)職種	教諭
(2)求める人材像	<p>○上記「具体的な取組方策」に取り組む意欲のある者で、次のいずれかに該当する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長の経営方針を理解し、教職員と連携し、学校全体の取組に向けて推進できる者。 ・地域関係者及び幼小中教職員との連携組織の中核となり、令和9年度開校となる共和町立義務教育学校に向けて、意欲的に取り組む者。

3 その他必要な事項

(1)募集人数	1名
(2)その他	○「特別支援学校」の免許を所有する者を希望する。

後志管内小・中学校教職員人材公募 公募校案内

市町村名	小樽市	学校名	小樽市立長橋小学校
------	-----	-----	-----------

1 取組内容

(1)実施する取組	子どもの可能性を引き出す学力向上の取組及び授業改善の推進
(2)現状と目指す姿	<p><現状></p> <p>○各種調査等で明らかになっている課題として児童の学力の二極化がある。学力向上策を行っているが、各学級への浸透状況に課題がある。検証改善サイクルを再構築し、全職員で共有・徹底することが必要である。</p> <p>○個別最適な学びの充実に向けICTを活用しているが、個々のスキルにより、授業での活用頻度・方法に差が見られる。</p> <p><目指す姿></p> <p>○ベテラン層とミドル層一が一体となり、学力向上に向け、ICT活用による「個別最適な学び」と対話等を大切に「協働的な学び」の充実に向け、エビデンスに基づいた授業改善を行う。</p>
(3)計画年数	2年
(4)具体的な取組方策	<p><1年目></p> <p>○研究、教務、管理職で構成される学力向上検討委員会をICT担当を含めるなど、包括的な学力向上チームとして再編成する。</p> <p>○学力向上に向け、中・長期的な視点による検証改善サイクルを確立し、授業改善の成果を積み重ね、共有を図る。</p> <p>○研修、教務によるICT活用研修を実施し、その実践を全教員で共有し、授業に生かす。</p> <p><2年目></p> <p>○検証改善サイクルの見直し・修正を行う。</p> <p>○ミニ研修等によるICT活用の授業実践及び交流・検証をする。</p> <p>○授業公開など、小中一貫教育の視点から、中学校区で成果・課題を共有する。</p>

2 応募資格(職種等)

(1)職種	教諭
(2)求める人材像	<p>○上記の「目指す姿」を理解し、「具体的な取組方策」に取り組む意欲のある者で、次のいずれかに該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長のリーダーシップのもと、教職員と連携し、チームとして授業改善の取組を推進できる者 ・ICT活用に前向きで、学び続ける意欲がある者 ・教務や研究の経験があり、持続可能な学校運営を目指し、その担い手として関わることができる者

3 その他必要な事項

(1)募集人数	1名
(2)その他	○ミドル層

後志管内小・中学校教職員人材公募 公募校案内

市町村名	小樽市	学校名	小樽市立奥沢小学校
------	-----	-----	-----------

1 取組内容

(1)実施する取組	1人1台端末の効果的な活用による全校的な授業改善の推進
(2)現状と目指す姿	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業及び家庭学習等における1人1台端末の活用促進を図ってきているところだが、個々の教師の力量差もあり、そのことが取組の差となって表れている状況である。 <p><目指す姿></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本校で目指す子どもに身に付けさせたい資質・能力の育成に向けて、1人1台端末を含むICTの効果的な活用による個別最適な学びと協働的な学びの一体化に全校で取り組み、新しいかたちの学びによる授業改善及び授業力向上を図る。
(3)計画年数	3年
(4)具体的な取組方策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年目 <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善プロジェクトチームの編成 ・身に付けさせたい資質・能力の育成に向けた授業改善の視点、1人1台端末を主とした効果的なICT活用について共通理解 ・授業改善、ICT活用に向けた校内研修、ミニ研修の実施 ・市内の小・中学校を対象とした授業公開の実施、課題等の検証 ○ 2年目 <ul style="list-style-type: none"> ・端末を活用した個別最適な学び、協働的な学びの一体化の実現に向けた授業実践交流 ・市内の小・中学校を対象とした授業公開の実施、成果・課題等の検証 ○ 3年目 <ul style="list-style-type: none"> ・身に付けさせたい資質・能力の育成に係る取組の評価・検証・改善を踏まえた重点的な取組の実施 ・市内の小・中学校を対象とした授業公開の実施、成果の普及

2 応募資格(職種等)

(1)職種	教諭
(2)求める人材像	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上記「具体的な取組方策」に取り組む意欲のある者で、次のいずれかに該当する者 <ul style="list-style-type: none"> ・ 校長のリーダーシップのもと、教職員と連携し、チームとして授業改善の取組を推進できる者 ・ ICTの活用についての専門性があり(または今後向上を目指す意欲を有している)、具体的な改善計画を示すなど実践力や意欲を備えた者

3 その他必要な事項

(1)募集人数	1名
(2)その他	

後志管内小・中学校教職員人材公募 公募校案内

市町村名	岩内町	学校名	岩内町立岩内第一中学校
------	-----	-----	-------------

1 取組内容

(1)実施する取組	岩内町立岩内中央学園の開校に伴う小中一貫教育取組の推進
(2)現状と目指す姿	<p><現状></p> <p>○ 岩内中央学園(施設一体型義務教育学校)の令和8年度開校に向け、学校のみならず保護者や地域の声を取り入れながら取組を進めている。しかし、小学校と中学校の文化の融合が必要な9年間の一貫した教育課程編成に向けた検討において、教職員の意識の変革が大きな課題となっている。</p> <p><目指す姿></p> <p>○ 岩内町4校が連携を図り、令和8年度円滑に開校を迎え、学校教育目標の達成に向け、質の高い指導を行う。</p>
(3)計画年数	3年
(4)具体的な取組方策	<p>○ 第1期(1年目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開校に係る諸会議の運営に向けた取組 ・全国学力・学習状況調査を活用した岩内町の課題の整理・分析 ・独自教科「まちづくり科」の編成に向けた取組 ・ICTの授業活用と持ち帰りの充実にに向けた取組 <p>○ 第2期(2年目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1期の取組の検証改善 ・目指す授業像の統一化に向けた授業公開 <p>○ 第3期(3年目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開校した後の検証改善サイクルの確立

2 応募資格(職種等)

(1)職種	教諭
(2)求める人材像	<p>○ 本校及び本町の目指す子ども像を理解し、上記「具体的な取組方策」に取り組む意欲のある者で、次に該当する教諭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育に意欲のある教諭 ・校長の学校経営方針を踏まえ、ミドルリーダーとして力を発揮できる教諭 ・自ら積極的に授業公開及び授業改善を推進し、学力向上に向けた取組を推進できる教諭 ・法規法令に基づいて検証改善に努めることのできる教諭

3 その他必要な事項

(1)募集人数	1名
(2)その他	○「社会」または「数学」の免許を所有する者を希望する。

後志管内小・中学校教職員人材公募 公募校案内

市町村名	ニセコ町	学校名	ニセコ町立ニセコ中学校
------	------	-----	-------------

1 取組内容

(1)実施する取組	子ども一人一人の学びの充実に向けた教育課程の改善
(2)現状と目指す姿	<p><現状></p> <p>○「ニセコスタイルの教育」を具現化するために令和5年度に町内に研究会を立ち上げた。校種間連携を基盤に「英語」「ふるさと学」「特別支援教育」「授業改善」をテーマに一体感のある取組を目指している。その研究・連携をもとに、自校の教育課程を改善・推進する必要がある。</p> <p><目指す姿></p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた教育課程の改善がなされ、生徒たちが夢を実現するためにどんなことにも挑戦できる教育課程の改善を図る。</p>
(3)計画年数	4年
(4)具体的な取組方策	<p>◎総合的な学習の時間について</p> <p>○1年目～3年目 総合的な学習の時間についてPDCAを進め、教育課程を改善する。</p> <p>○3年目 総合的な学習の時間について、地域有識者等にも参画いただき、改訂作業を計画する。</p> <p>○4年目 見直した総合的な学習の時間の計画の推進・評価・改善を実践する。「ふるさと学」について、管内・地域への公開授業を行う。</p> <p>◎学力向上について</p> <p>○1年目 授業(学習)スタイル(規律・過程)を全教職員で共有・実践する。 少人数指導について、方策を検討し、次年度計画を立案する。</p> <p>○2年目 少人数指導を実施、評価、改善する。 各教科での地域人材の活用について検討し、年間指導計画に位置づける。</p> <p>○2年目～4年目 研究主題に向け、学力向上担当者と連携し、授業研究・公開に望む。</p> <p>◎特別活動について</p> <p>○1年目 学習指導要領に示された学習過程を意識した年間指導計画の改定を行う。</p> <p>○2年目～4年目 見直した特別活動についてPDCAを進める。</p>

2 応募資格(職種等)

(1)職種	教諭
(2)求める人材像	<p>○上記「具体的な取組方策」に取り組む意欲のある者</p> <p>○校長の指導の下、教職員と連携して、教育課程の改善を推進できる者</p>

3 その他必要な事項

(1)募集人数	1名
(2)その他	

後志管内小・中学校教職員人材公募 公募校案内

市町村名	寿都町	学校名	寿都町立寿都中学校
------	-----	-----	-----------

1 取組内容

(1)実施する取組	地域の特色を生かした学力・体力向上を図る小中高連携教育の推進
(2)現状と目指す姿	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 寿都町小中高連携推進委員会を中心に、本町児童・生徒一人ひとりの学力を含め様々な面での成長のために、小中高が連携を図って取り組んでいる。今後さらに充実した取組を進めていく必要がある。 ○ 本町が取組の強化を図っている、小中高連携教育を中学校教諭が中心的な立場で進めていく必要があり、リーダーシップを発揮できる人材が必要である。 <p><目指す姿></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 寿都町内4校が連携を図り、12年間を見通した教育を進め、地域に根ざした確かな学力を身に付けた児童生徒を育てる。
(3)計画年数	3年
(4)具体的な取組方策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1期(1年目) <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中高連携教育の検証と改善計画の策定。 ・ 小中高連携推進委員会「学力ベーシック部会」の取組の改善。 (全国学力・学習状況調査(小中)、道教委独自の学力テスト(高)、全国体力・運動能力、運動習慣等調査等の分析) ・ 乗り入れ授業の実施と授業改善。 ○ 第2期(2年目) <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中高連携推進委員会「学力ベーシック部会」の取組の充実。 ・ 乗り入れ授業の継続と組織的な授業改善。 ・ 学力・体力向上に向けた取組の見直し。 ○ 第3期(3年目) <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中高連携推進委員会の取組を着実かつ効果的に実施。

2 応募資格(職種等)

(1)職種	教諭
(2)求める人材像	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上記「具体的な取組方策」に取り組む意欲のある者で、次に該当する教諭。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中高連携教育に意欲のある教諭。 ・ 校長、教頭、教職員とともに地域に根ざしたひとづくりに意欲のある教諭。 ・ 校長の学校経営方針を踏まえ、リーダーシップを発揮できる教諭。 ・ 自ら積極的に乗り入れ授業に取り組む教諭。 ・ 子どもへの愛情と教育への情熱のある教諭。 ・ 凡事を徹底できる教諭。

3 その他必要な事項

(1)募集人数	1名
(2)その他	○「社会」または「保健体育」の免許を所有している教諭。

後志管内小・中学校教職員人材公募 公募校案内

市町村名	小樽市	学校名	小樽市立朝里中学校
------	-----	-----	-----------

1 取組内容

(1)実施する取組	「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現するための授業づくり
(2)現状と目指す姿	<p><現状></p> <p>○ 昨年度から校内研修で「教え(すぎ)ない授業」をテーマに、個別最適な学びと協働的な学びをどのように充実させていくか、またその際、授業において効果的に端末を使用するにはどのような方法があるのか、について研修及び実践してきた。その結果、第2学年数学科において、標準学力調査の平均正答率が、全国平均を7.8ポイント上回るなど、成果が表れている。</p> <p><目指す姿></p> <p>○ 主体的に課題に取り組み、交流や発表などの学び合いを通して、学力向上を目指す生徒の育成</p>
(3)計画年数	3年
(4)具体的な取組方策	<p>○ 1年目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「教え(すぎ)ない授業」の実践に向けた各教科の好事例の収集及び成果と課題の共有化 ・ 端末を効果的に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に向けた各教科の好事例の収集及び成果と課題の共有化 <p>○ 2年目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年目の成果と課題を踏まえた各教科の授業改善及び端末の効果的活用に向けた校内研修(ミニ研修)の実施 ・ 端末を活用した個別最適な学び、協働的な学びの実現に向けた授業実践交流 <p>○ 3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2年目の成果と課題を踏まえた授業実践 ・ 市内の小・中学校を対象とした授業公開など取組の成果の普及

2 応募資格(職種等)

(1)職種	教諭
(2)求める人材像	<p>○ 上記「具体的な取組方策」に取り組む意欲のある者で、次のいずれかに該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校長のリーダーシップのもと、教職員と連携し、組織的な授業改善の取組を推進できる者 ・ 授業研究に積極的に取り組み、具体的な改善計画を示すなど実践力を備えた者

3 その他必要な事項

(1)募集人数	1名
(2)その他	○ 「数学」の免許を所有する者を希望する。

後志管内小・中学校教職員人材公募 公募校案内

市町村名	小樽市	学校名	小樽市立西陵中学校
------	-----	-----	-----------

1 取組内容

(1)実施する取組	新たな不登校を生まない学校づくりと教育相談体制の充実
(2)現状と目指す姿	<p><現状> ○無気力や学業不振等に起因する不登校生徒や不登校傾向の生徒が各学年に複数名いる現状がある。</p> <p><目指す姿> ○子どもたち一人一人の学習面や生活面における困り感に寄り添い、一部の教員だけではなく、養護教諭、事務職員も含めた「チーム学校」としての教育相談体制の充実と学校運営への参画意識を高める。 ○生徒が不安や悩みを抱え、命の危機に直面したとき、誰に、どのように助けを求めればよいかを自主的に考え、行動できる実践的態度を育成する。</p>
(3)計画年数	3年
(4)具体的な取組方策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年目 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「SOSの出し方に関する教育」に関わる研修の充実 ・ 新たな不登校を生まない教育相談体制の確立 ○ 2年目 <ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校生徒に対するICTを活用したオンライン支援 ・ 道教委「児童生徒の自殺を予防するためのプログラム」の実践 ○ 3年目 <ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校コーディネーターの設置とアセスメント、関係機関との円滑な連携 ・ 養護教諭、SC、SSW、民生委員、警察、市福祉課も含めた「不登校対策委員会」の設置と情報交流の実施

2 応募資格(職種等)

(1)職種	養護教諭
(2)求める人材像	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上記「具体的な取組方策」に取り組む意欲のある者で、次のいずれかに該当する者 <ul style="list-style-type: none"> ・ 校長のリーダーシップのもと、教職員と連携し、組織的な学校運営に貢献する意欲のある者 ・ 教育心理に関わる自己研鑽を積み、教育相談体制の充実を図るための具的な計画を示すなど実践力を備えた者

3 その他必要な事項

(1)募集人数	1名
(2)その他	